

2020年10月29日（木）
愛知県農業水産局農政部農業振興課
野生イノシシ対策室
経口ワクチン対策グループ
担当 小出、後藤
内線 5200、5203
ダイヤル 052-954-6725

野生イノシシの豚熱に対する免疫獲得率について

愛知県では、野生イノシシに豚熱^{※1}に対する免疫を獲得させるために、2019年3月から野生イノシシへの経口ワクチンの野外散布を実施するとともに、野生イノシシから検体を採取し遺伝子検査^{※2}及び抗体検査^{※3}を行っています。

この度、2020年7月から9月までの検査結果をとりまとめましたので、お知らせします。

1 調査結果について

遺伝子検査及び抗体検査の両方の結果が判明した野生イノシシに関する免疫獲得率^{※4}について、7月から9月までの県内の免疫獲得率は29%となりました（裏面参照）。

欧州委員会（E C）が2010年に作成したガイドライン^{※5}では、野生イノシシの免疫獲得率が40%を超えると豚熱の増加を止めるとされ、60%を超えると豚熱ウイルスが根絶に向かうとされています。

今後も、愛知県に生息する野生イノシシ全体の免疫獲得率を高めるために、経口ワクチン散布を継続します。

なお、これまでの免疫獲得率については、以下の愛知県農業振興課Webページにて公表しています。

URL：<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/nogyo-shinko/meneki1029.html>

※1 2020年10月16日に農林水産省から、「CSF」の呼称及び表記について今後は「豚熱」を使用する方針であるとの通知を受け、本県においても、今後の呼称及び表記について「豚熱」を使用します。

※2 「陽性」であれば、豚熱に感染しており、「陰性」であれば感染していない。

※3 「陽性」であれば、豚熱に対する抗体を保有しており、「陰性」であれば保有していない。

※4 遺伝子検査が「陰性」かつ抗体検査が「陽性」であるイノシシの頭数を、検査頭数で除したものとする。

※5 Guidelines on surveillance/monitoring, control and eradication of classical swine fever in wild boar
(SANCO/7032/2010(Rev4)【June 2010】)

2 経口ワクチン散布回数ごとの免疫獲得率（7月～9月）

散布回数	調査対象頭数	免疫獲得頭数 (遺伝子検査が「陰性」かつ 抗体検査が「陽性」の頭数)	免疫獲得率
8回散布地域	53頭	23頭	43%
7回散布地域	61頭	15頭	25%
6回散布地域	78頭	28頭	36%
5回散布地域	244頭	69頭	28%
4回散布地域	35頭	3頭	9%
全 体	471頭	138頭	29%

【本調査対象となる野生イノシシ】

各市町村の、散布期間及び最終散布日から15日目以降に回収された野生イノシシのうち、遺伝子検査及び抗体検査両方の結果が判明した野生イノシシを調査対象としている。

【本調査対象市町村内訳】

- ・ 8回散布地域：犬山市、小牧市、春日井市
- ・ 7回散布地域：瀬戸市
- ・ 6回散布地域：岡崎市、豊橋市、幸田町
- ・ 5回散布地域：豊田市、西尾市、豊川市、新城市、東栄町、豊根村
- ・ 4回散布地域：長久手市、蒲郡市、設楽町、田原市

